



東京ビジネス・サミット大賞とは

会場内で、今後のビジネスの可能性を期待され、最も注目された出展企業を大賞に選出するのが「東京ビジネス・サミット大賞」だ。受賞企業には、商品やサービスを全国展開するための全面的な支援が約束される。東京ビジネス・サミットの注目企画だ。

出展カテゴリーごとに「部門賞」を設けて、事前に出願を受け付けた後、書類審査で絞られた16社を対象に選考される。サミット初日に選考委員会と来場者の投票によって「大賞」と各「部門賞」が決定する。

2009年の大賞受賞企業には、賞金25万円と次回出展権2小間分が、部門賞受賞企業には、賞金10万円と次回出展権1小間分が授与された。

後日談 サミットが追い風になり次々と協力企業が現れる

これまで、「安心音」という商品は説明が難しく、延岡では、親戚や知人に口コミで伝えて営業していました。しかし、東京ビジネス・サミットに出展してからは、そこで出会った人々からさまざまな協力の申し出を受けるようになりました。また、「大賞」を頂いたことで地元紙から取材を受けるなど、一つの反響が次の反響を呼ぶようになりました。これまでとは状況が一変して、多くの協力者を得て、短い期間に次々と新しい展開ができます。今では「安心音」だけでなく、高齢者の心音を残す「愛心音」、活力ある心音で社会人に元気をつくる「快心音」、ウェブ上で展開する「着心音」などバリエーションが生まれています。さらに、一人っ子政策で子どもの成長に関心が強い中国の企業からも問い合わせがあり、海外展開の可能性も見えてきています。

大賞を授かったので次回は出展権2小間を頂きました。そこで新たな商品を紹介できるのが今から楽しみになっています。



受賞者の声 踏み出せば道は開ける

「東京ビジネス・サミット」の出展受け付け中だと知ったのは、締め切りの前日でした。「一步踏み出してみなければ始まらない」と思い、大急ぎで書類を揃え、サミットの情報を集め、1日での準備が大変でした。出展受け付けさえ危うい状態だったので、不安でいっぱいでしたが、ちょうどブースに空きができたとの知らせを受けて、奇跡的に出展することができました。「心音」という商品を理解してもらえるのか心配でしたが、当日はたくさんの方に共感してもらうことができました。延岡(宮崎県)で小さく始めた事業に、これほど多くの協賛が受けられるとは思っていませんでした。「踏み出せば道は開ける」ということを実感しました。



Company Profile

オリオン
(癒しの心音グループ)
宮崎県延岡市幸町2-89-2
資本金 800万円
従業員 12人
0982-26-0577
http://heart.i-shinon.com/

ユーザーの声②

■50代女性の話

息子夫婦に孫が生まれる時に、注文しました。私には子ども時代の写真がないので、孫には、誕生の思い出に残るものを贈りたかったのです。今では、孫たちがCDを聞きながらお昼寝しています。



ユーザーの声①

■20代女性の話

妊婦の時に友人から「安心音」のことを聞いて、心音を録音しました。機材が借りられるので自宅で簡単に録音できます。CDを流すと、ぐずっていた赤ちゃんが泣き止んで眠ります。



東京ビジネス・サミット2009 大賞・部門賞 受賞企業発表



2009年11月4日(水)、5日(木)の2日間、東京ビッグサイト(東京・有明)で「第23回東京ビジネス・サミット2009」が催された。出展企業は383社、出展小間数は464小間に上る展示商談会となった。この中、ベンチャー・リンク(東京都台東区)は、今後のビジネスに可能性を感じさせる出展企業を選出し「東京ビジネス・サミット大賞」と「部門賞」を決定した。



出展企業名
オリオン
(癒しの心音グループ)

商品名
今だから届けられる
子どもたちの未来への贈り物

「安心音」



大賞を受賞したオリオン(癒しの心音グループ)の新名静子社長(右)と「安心音」をプロデュースした河野靖美企画部長

「究極の癒し」とは、人の心が弱っている時に安心感を与えてくれるもの。そして人間が一番弱い時とは、未熟な胎児の状態でお母さんのお腹の中にいた時だ。

このことからオリオンは、赤ちゃんがお腹の中でいつも聴いて安らぎを得ていた、お母さんの心臓の音に注目。心音をCDに録音し、生まれてくる赤ちゃんへ、癒しの音としてプレゼントするサービス「安心音」として商品化した。

心音を聴くとアトピーが治るなど「心音治療」の症例もある。乳児向けのみならず、大人の癒しツールとしても新たなビジネスの可能性が期待される。

聴いた赤ちゃんが安心するお母さんの心臓の音のCD